

令和3年度 事業報告

社会福祉法人市貝町社会福祉協議会

令和3年度 社会福祉法人市貝町社会福祉協議会事業報告

【総括】

令和3年度事業は、新型コロナウイルスの影響により“人が集う事業”の制限があったが、屋外での活動や人数制限を設けた自治公民館への出前福祉講座や地域座談会などを再開した。従来のような小地域福祉活動の展開は様子を見ながらの実施であったが、多くの活動の再開を通して住民同士が地域のつながり実感している多くの場面に立ち会うことができた。

新型コロナの影響による給与等の収入が減少した方に対しての生活福祉資金特例貸付の対応は継続して実施しつつ、子育て世帯への支援対策として食料支援事業を行うなど支援制度の周知啓発も事業を抱き合わせて実施した。

総合相談機能強化のため、重層的支援体制移行事業や権利擁護事業の体制構築を図り、町民の方が地域で安心して生活を続けるために必要な新たな相談事業などにも取り組んだ。

【重点事業】

- (1) ニーズに対応した解決する仕組みづくり
- (2) 地域福祉の推進を促進する人材育成と身近な拠点の整備
- (3) 災害に対応できる支援体制づくり
- (4) 福祉人材の養成・地域福祉基盤強化
- (5) 成年後見制度利用促進にかかる事業の促進
- (6) 本会機能の体制強化

(1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

(1) 各種講座の開催

【赤十字救急法】

(幼児安全救急法)

実施日 令和3年10月4日 参加者 14名

対象者 保育従事者、ファミリーサポートセンター

講師 日本赤十字社栃木県支部 幼児安全法主任指導員 柳沢 仁美 氏

(生活支援講習会)

実施日 令和3年12月2日 参加者 10名

対象者 町民、ボランティア活動者

講師 日本赤十字社芳賀赤十字病院主任指導員 三橋 明美 氏

【支援ワーカー養成講座】

(ゲートキーパー養成講座)

実施日 令和3年7月9日 参加者 23名

対象者 町民、シニアクラブ役員

講師 栃木県精神保健福祉センター職員

(出所者の障害福祉と生活困窮に関する学習会)

実施日 令和3年11月22日 参加者26名
対象者 保護司・更生保護女性会、ボランティア活動者
講師 芳賀郡障害児者相談支援センター長 石崎 智 氏

【日常生活自立支援事業の生活支援体験学習】

実施日 令和4年1月～3月(延べ5回)
対象者 日常生活自立支援事業生活支援員候補者4名
内 容 ・制度理解と対人援助の基礎
・制度利用者への支援体験
・生活支援、福祉サービス利用援助同行支援

【地域包括ケアシステム普及啓発講座】

(障害福祉サービスと介護保険制度学習会)

実施日 令和3年11月19日 参加者8名
対象者 身体障害者 当事者団体
講師 地域包括支援センター 岩崎 舞氏

【当事者理解に関する学習会】 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
(障害児者を兄弟に持つ家族の支援に関する学習会)

対象者 当事者団体及び家族、ボランティア活動者、町民

【子育て世帯向け講座】

(進学に伴う費用の学習講座)

事業名 中学校進学のために知っておきたいお金の話
対 象 小学校6学年保護者
講 師 本会職員(社会福祉士)
実施日 小貝小学校 令和3年10月12日 17:30～18:30 参加者15世帯
市貝小学校 令和3年10月27日 17:30～18:30 参加者23世帯
赤羽小学校 令和3年11月 5日 17:30～18:30 参加者18世帯

※ コミュニティスクールに関連する事業として小学校地域連携事業としての取り組み

(2) ボランティア活動の機会の創出

【障害者の居場所づくり】

開催回数 12回(対面での事業実施7回 在宅活動5回)
ボランティア活動者 ボランティア44名 保護者14名 職員22名

【手話奉仕員養成サークル事業】

開催回数 7回（まん延防止等重点措置等のため福祉センター使用制限有り）
活動登録者 15名（手話検定2級3名、4級6名、5級4名）
協力者 聾者2名（町外2名）

【新型コロナウイルスワクチン接種に関する支援事業】

活動回数 14日
延べ活動者 44名
活動会場 市貝町町民ホール、市貝町保健福祉センター

（3）出前福祉教育の充実

【福祉教育の調整及び実施】

町内小学校で行われる、福祉理解及び地域住民を招いての学習において担当教師、企業、本会が授業プログラムを共同で立案し講師の派遣調整を行い実施した。

（小貝小学校）

実施日 令和3年12月20日
対象者 4学年児童
テーマ アクセシブルな福祉 車いす介助のコツ 障害者等用駐車区画について
講師 NPO 法人アクセシブル・ラボ 大塚訓平 氏

（市貝小学校）

実施日 令和3年12月17日
対象者 4学年児童
テーマ アクセシブルな福祉 車いす介助のコツ 障害者等用駐車区画について
講師 NPO 法人アクセシブル・ラボ 大塚訓平 氏

（赤羽小学校）

実施日 令和3年9月30日
対象者 4学年児童
テーマ 障害者スポーツの理解と音の理解
講師 本会職員2名（障害者スポーツ指導員所持者）
ボランティア関係者3名

実施日 令和3年11月5日
対象者 4学年児童
テーマ アクセシブルな福祉 車いす介助のコツ 障害者等用駐車区画について
講師 NPO 法人アクセシブル・ラボ 大塚訓平 氏

(4) 福祉ボランティア連絡会議の推進出前福祉教育の充実

【学校区地域連携会議への出席】

町内3小学校で行われる、地域連携会議へ本会職員（学校支援ボランティアコーディネーター研修修了者）を出席させ、学校活動と地域活動のマッチング・コーディネートを行った。

【学校地域連絡会議】

小貝小学校地域連携会議への出席 1回

市貝小学校地域連携会議への出席 1回

赤羽小学校地域連携会議への出席 2回

【地域とのマッチング状況】

小貝小学校区

- ・農業体験学習 刈生田地区農業者をマッチング
- ・戦時中理解学習 遺族会会員をマッチング

市貝小学校

- ・戦時中理解学習 遺族会会員をマッチング

赤羽小学校

- ・戦時中理解学習 遺族会会員をマッチング

(5) 地域福祉座談会の実施

【地域福祉座談会】

大字単位13地区の公民館施設等を利用しての実施は、感染症拡大防止のため中止した。小地域座談会は実施しコロナ禍においての可能な活動を模索するための意見集約を行った。

(地域懇談会)

【続谷自治会】

実施日 令和3年6月5日

会場 続谷公民館

テーマ 食料支援に関する活動

講師 本会職員2名（社会福祉士）

【石下自治会】

実施日 令和3年7月25日

会場 石下地区居場所エリア

テーマ トラブルを起こす地域住民との関わりについて

講師 本会職員（DWA T登録職員）

(2) 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

(1) 福祉人材バンク制度の構築・醸成

【地域人材・企業の新規開拓】

小貝小学校区	1社	(葬祭支援)
市貝小学校区	3社	(自動車等の廃棄支援、雇用支援、電気工事等支援)
芳賀地区	2社	(食料支援、情報啓発支援)
宇都宮市	1社	(家財等処分支援)
茨城県	1社	(困窮者支援)
群馬県	1社	(家電リサイクル支援)

【就労先・就労体験先の新規開拓】

小貝小学校区	1社	(農作業)
市貝小学校区	1社	(倉庫内文庫本整理作業)
赤羽小学校区	2社	(プラスチック等処理作業、生花収穫作業)

(2) 小地域ネットワークの構築

1 シニア組織支援の充実

【地域学習会】

続谷シニアクラブ	成年後見制度学習会
石下シニアクラブ	地域防災学習会(炊き出し体験)
こうのとりのりクラブ	年末交流会、地域見守り交流事業

【社会奉仕活動の推進】

シニアクラブ奉仕団社会奉仕活動	延べ参加者	107名
市貝中学校社会奉仕活動	0回	コロナウイルス感染症の影響により中止
小貝小学校社会奉仕活動	2回	延べ参加者 9名
市貝小学校社会奉仕活動	2回	延べ参加者 54名
赤羽小学校社会奉仕活動	2回	延べ参加者 44名

2 とちぎ生涯現役シニア応援センターの運営(栃木県老人クラブ連合会 受託事業)

(元気シニア活躍応援窓口 ふらっといちかいの運営)

開設期間 令和3年11月1日～令和4年3月31日

延べ利用者 3名

広報方法 ホームページ掲載、SNS発信、社協だより、町広報誌

(元気シニア活躍応援窓口事前説明会)

期 日 令和3年7月19日

主 催 栃木県老人クラブ連合会・栃木県

(3) 障害者団体支援の充実

【当事者団体の支援及び支援者組織との連携】

(当事者団体支援)

市貝町身体障害者福祉会 (事業支援、経理支援)

市貝町ひまわり会 (手をつなぐ育成会) (事業支援、経理支援)

(支援者組織との連携)

社会福祉法人との連携 3 法人

NPO法人との連携 3 法人

支援福祉団体との連携 4 法人

【障害を持っている方の居場所づくりの推進 (障害者スポーツの推進、余暇活動の推進)】

令和3年度 障がい者レクリエーション教室『喜楽会』実施状況

開催日時：毎月第3日曜日 10:00～11:30 (原則)

開催場所：市貝町保健福祉センター (ロビー・集会エリア・グラウンド・会議室)

実施日	活動内容	参加者数							
		障		保	ボラ	ケヤキ	かがやき	事務局	計
		知	身						
4/9	交通安全DVD鑑賞・体操・記念樹の森散策	11	0	2	7	2	6	3	31
5/16	体操・フライングディスク・コントロールアタック	10	0	2	6	2	4	4	28
6/21	体操・フライングディスク・コントロールアタック	9	0	2	7	2	6	4	30
7/18	町障がい者スポーツ教室「カローリング」 (喜楽会参加者カウント)	8	8	2	6	2	6	4	36
8/22	(コロナまん延防止宣言措置の為中止) ぬり絵送付・電話による安否確認	11	15	0	0	0	0	0	26
9/19	(コロナ緊急事態宣言の為中止) 立体 ぬり絵送付・電話による安否確認	11	15	0	0	0	0	0	26
9/26	栃木県障害者スポーツ大会 (コロナ緊急事態宣言の為中止)	0	0	0	0	0	0	0	0
10/10	フライングディスク (ストラックアウト・アキュラシー)	8	0	2	7	3	6	3	29
11/7	町スポレク祭 (中止)	0	0	0	0	0	0	0	0
11/13	県手をつなぐ育成会「野外コンサート」	8	0	2	2	0	0	2	14
12/5	3町合同スポ大会 (喜楽会カウント) 中止	0	0	0	0	0	0	0	0
12/19	フライングディスク競技会	10	0	2	9	3	6	2	32
1/16	感染症拡大予防の為中止(ぬり絵送付)	11	0	0	0	3	6	0	20
2/21	感染症拡大予防の為中止(ぬり絵送付)	11	0	0	0	3	6	0	20
3/8	感染症拡大予防の為中止(ぬり絵送付)	11	0	0	0	3	6	0	20
									0
計		119	38	14	44	23	52	22	312

災害時に対応できる支援体制づくり

(1) 生活支援体制の整備

【専門的スキル学習会の実施】

主 催 栃木県

内 容 ・災害福祉支援チームスキルアップ研修
・災害福祉支援チーム員研修会

【災害支援関係者との平時における会議の開催】

(とちぎ市町社協災害支援担当者会議)

主 催 栃木県社会福祉協議会

内 容 ・コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営について
・活動者の事前登録制度導入について

【生活再建に関する情報の発信】

災害時の情報発信 (T w i t t e r 1回)

【災害時備蓄品の整備】

スコップ 20本 (角型スコップ10 丸型スコップ10)

ジョレン 10本

土嚢袋補助具 10台

(2) 防災学習会の実施

【災害ボランティア養成講座】

(災害炊き出し訓練)

期 日 令和3年7月29日

内 容 防災炊き出し訓練

対 象 日本赤十字奉仕団、調理ボランティア、市埜学童保育職員

【地域防災学習会】

(石下自治会)

期 日 令和3年7月25日

会 場 石下自治会内

対 象 石下自治会住民

(防災学習会)

期 日 令和4年2月7日

会 場 市貝小学校敷地内

対 象 市貝小学校5年生、教員

学生活動の支援

【小中学校での福祉に関する学習支援】

期 日 令和3年12月7日

対 象 市貝中学校1学年

内 容 郷土学習（福祉分野）

【サマーボランティア学習の支援】（町生涯学習課より依頼）

期 日 令和3年8月7日

対 象 サマーボランティア学習受講者25名（市貝中学校希望者）

内 容 ボランティア活動についての講話

【大学生の地域活動調査への支援】

期 日 令和3年7月20日

対 象 宇都宮大学地域デザイン科

内 容 地域フィールドワーク、地域活動に関するヒアリング

（3）社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

1 町民の福祉活動を取り上げる情報の発信

- ・Twitterでの情報発信
- ・活動募集チラシの作成、配布（配食サービス）

2 福祉に関する研修事業、イベントなどの広報

- ・住民向け研修イベントの周知 2回
- ・食料支援に関する事業の周知 2回
- ・食料品募集に関する周知 4回
- ・福祉協力員に関する周知 2回
- ・司法書士相談会に関する周知 通年
- ・出前出張相談会に関する周知 通年

3 ホームページの更新

- ・SNSでの情報発信

Twitter（ボランティア活動周知、活動報告、情報提供）

LINE（ボランティア活動周知、情報提供、支援依頼）

4 その他

社協だよりの発行 年3回 各号3,500部印刷、文書配布日全戸配布、公共施設へ配置

社会資源の管理

【住まい、就労先、地域活動などの情報集約】

(住居資源)

市貝小学校区	5	オーナー
赤羽小学校区	2	オーナー
町外	1	オーナー

(地域資源)

小貝小学校区	1	社 (葬祭支援)
市貝小学校区	3	社 (自動車等の廃棄支援、雇用支援、電気工事等支援)
芳賀地区	2	社 (食料支援、情報啓発支援)
宇都宮市	1	社 (家財等処分支援)
茨城県	1	社 (困窮者支援)
群馬県	1	社 (家電リサイクル支援)

(就労体験先)

小貝小学校区	1	社 (農作業)
市貝小学校区	1	社 (倉庫内文庫本整理作業)
赤羽小学校区	2	社 (プラスチック等処理作業、生花収穫作業)

(地域活動)

小貝小学校区	2	団体 (ワークショップ、自然体験)
赤羽小学校区	1	団体 (多世代交流活動)

(4) 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

あんしんサポート支援事業の促進

支援回数 23回

支援時間 64時間

(主な支援内容)

- ・ 制度利用開始までの印鑑、自宅鍵の保管等
- ・ 生活用品、日用品の買い物代行
- ・ 入所対応等に関する支援代行
- ・ 公共料金の支払代行
- ・ 制度申請に関する同行対応

(支援関係機関)

司法書士事務所、地域包括支援センター、総合相談支援センター

車椅子等福祉機器機材の無料貸出事業

福祉機器等が必要な方に貸出を行い、地域住民のニーズに応じた福祉機器の整備を行った。新型コロナウイルスワクチン接種のための利用や会場常設用としての貸出が多く見られた。

また、地域活動再開を機に、感染用対策用品（アクリルパネル等）の貸出が増加傾向にあった。

（１）福祉機器無料貸出事業

車いす 25 件（ワクチン接種会場への長期貸出し 2 回）

チャイルドシート 8 件

（２）福祉事業機材貸出事業

アクリルパネル、ボッチャボール、シニアスポーツ用品

ひとり親支援事業

ひとり親家庭の方が、一時的に支援を必要としている場合に家庭生活支援員を派遣し、生活援助や保育支援を実施した。

【ひとり親日常生活支援事業】

支援員登録者 町内登録者 2 名

利用契約者 町内登録者 1 名

ひとり親家庭向け小口資金貸付事業【県ひとり親連合会町窓口事業】

申請件数 0 件

償還指導 1 件（平成 23 年度貸付分） 住所連絡先不明状態

償還完了 0 件（平成 29 年度貸付分）

福祉協力員の充実

現役世代の地域住民の登録を推進するためチラシの全戸配布及び、研修事業後の活動案内、定期発送チラシ裏面への掲載等を通して、新規募集活動を実施した。

登録者 36 名登録（令和 3 年 3 月末日時点）

（５）保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連携

小地域福祉活動の推進

【栃木県社会福祉協議会 栃の実基金活用事業】

申請認可件数 5 事業

福祉防災訓練事業、総合相談機能強化事業、福祉コミュニティづくり事業、
権利擁護普及啓発事業、重層的支援体制構築に向けた地域支援ネットワーク形成事業

【新型コロナウイルスワクチン接種に関する活動】

(ワクチン接種予約支援)

予約支援数 7件

(接種会場での支援活動)

期 間 令和3年6月～令和4年3月

活動内容 接種会場での誘導案内、受付対応

ボランティアセンター機能の充実

地域住民がボランティアに関する、理解と関心を深め、様々なボランティア活動への参加の機会を図るとともに、地域共生社会の実現に向け共助の基盤づくりを支援した。

【ボランティアの相談・登録・調整】

ボランティア活動に関する相談に応じながら個人や団体の登録受付を行い、ボランティアを必要とする人と活動を希望する人のマッチング、ボランティア活動者の窓口業務を行った。

(1) ボランティア活動保険手続き 749名 (基本活動685名・天災活動64名)

(2) ボランティア行事保険手続き 18件

【ボランティアポイントの推進 (町受託事業)】

制度支援登録者 111名 (前年比5名増)

制度利用登録者 11名 (前年比増減無し)

制度指定事業所 2事業所 (前年比増減無し)

交換ポイント 710ポイント (前年比2,570ポイント減)

金額換算 35,500円分 (前年比128,500円減)

(事業課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのボランティア活動の制限があったため、ポイント交換に至らない登録者が多くいたため、所持ポイントを繰越として対応した。

【中間支援組織・NPOとの連携強化】

町づくりや町内活動を推進する関係組織との連携強化を図り調整会議及び事業を実施した。

中間支援組織関係者会議 2件 中間支援組織関連事業 1件

NPO法人支援組織関係者会議 1件 NPO法人組織関連事業 1件

(6) 共同募金事業への協力

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

【募金月間】 10月1日～12月31日

【令和3年度実績】

(1) 赤い羽根共同募金の推進（募金運動 助成事業）

募金総額 1,510,347円

戸別募金	1,394,400円	2,324世帯
街頭募金	5,600円	1回
法人募金	31,113円	19事業所
学校募金	36,230円	4校（町内3小学校 1中学校）
職域募金	9,875円	3か所設定
イベント募金	4,000円	1回
自動販売機募金	18,524円	2台
その他の募金（利息含）	10,605円	県募金、利息

(2) 歳末たすけあい募金の推進

募金総額 914,954円 2,287戸

(3) 赤い羽根共同募金地域助成事業

助成団体 2団体

NPO法人はばたき	つながることをあきらめない学習支援	80,000円
こうのとりシニアクラブ	自治会未加入世帯等見守り	30,000円

(4) 共同募金会市貝町支会運営委員会

第1回 令和3年6月25日

議案第1号 令和3年度共同募金配分計画（最終案）について

議案第2号 令和4年度共同募金目標額（案）及び配分計画（案）について

(7) 生活福祉資金貸付事業（県社協事務受託事業）

生活福祉資金等貸付事業 【県社会福祉協議会受託事業】

臨時特例つなぎ資金事業 【県社会福祉協議会受託事業】

生活福祉資金特例貸付事業 【県社会福祉協議会受託事業】

低所得者等、日常生活全般に困難を抱えている世帯に対して、継続的な相談支援（就労支援、家計指導）を行い、貸付利用者に対しては償還指導及び訪問相談を行った。

ゴールデンウィーク期間、シルバーウィーク期間、年末に臨時相談受付窓口を開設した。

【通常貸付】

教育支援資金申請 1件

【新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付について】 令和4年3月31日

緊急小口資金（上限20万円の貸付）			総合支援資金（上限20万円×3カ月の貸付）		
112件 19,940,000円			97件 52,200,000円		
小貝小学校区	市貝小学校区	赤羽小学校区	小貝小学校区	市貝小学校区	赤羽小学校区
10	40	62	9	34	56
雇用形態			雇用形態		
個人事業主		21	個人事業主		24
正社員		31	正社員		25
パートタイマー		36	パートタイマー		27
アルバイト		17	アルバイト		17
無職		7	無職		4
在留カード所持申請者					27

【事業課題】

まん延防止等重点措置により、新型コロナウイルス特例貸付期間が延長されている。政府の決定において令和4年12月まで据置期間（償還開始までの猶予の機関）が延長になったため、令和4年度より償還に関する手続きが開始される。

（8）放課後児童健全育成事業（町こども未来課受託事業）

放課後児童健全育成事業【町受託事業】

（市埴学童あおばクラブ A）

開設日数 277日（土曜日開所分含む）

延べ出席児童 6,316名（前年比2,389名増）

（市埴学童あおばクラブ B）

開設日数 250日

延べ出席児童 6,839名（前年比1,486名増）

保護者が労働等により家庭にいない世帯を対象として、放課後安心して生活を過ごすことのできる場を提供した。新型コロナウイルス感染症の対応については主管課及び市貝小学校と連携して対応した。

学童保育の質を高めるために、利用児童と保護者のニーズを把握するためのアンケートを実施し、学童保育運営に意見等を反映させている。

(9) 心配ごと相談事業 (町健康福祉課福祉係受託事業)

心配ごと相談事業【町受託事業】

実施場所 市貝町保健福祉センター相談室

実施日 毎週金曜日 13:30~16:00

相談実績 図1のとおり

(図1)

年 度	開 催 日 数	相 談 件 数	相談内容(内容により重複あり)																		
			生 計	年 金	職 業 生 計	住 宅 ・ 土 地	家 庭	結 婚 ・ 離 婚	健 康 衛 生	精 神 衛 生	人 権 法 律	財 産	事 故	児 童 福 祉	教 育 青 少 年	心 身 障 が い	ひ と り 親	高 齢 者 福 祉	苦 情	家 族	そ の 他
3	48	15				1			1	3		1									9
研修事業			6月 ゲートキーパー養成講座 8月 県社会福祉協議会 心配ごと相談員研修会(中止)																		

(10) 配食サービス事業 (町健康福祉課高齢介護係受託事業)

配食サービス事業【町受託事業】

実施場所 市貝町保健福祉センター

実施回数 毎週水曜日 48回

調理 感染症対策を講じた上で手作り、まん延防止等期間中は業者弁当

配達食数 延べ2,305食(前年比134食減)

協力者 調理ボランティア活動 248名(前年比26名増)

運転ボランティア活動 161名(前年比5名減)

事務局対応 59名(前年比9名減)

(11) 生きがいデイサービス事業 (町健康福祉課高齢介護係受託事業)

生きがいデイサービス事業【町受託事業】

実施場所 市貝町保健福祉センター 高齢者娯楽室

実施回数 18回 隔週第2・4火曜日 9:30~11:30

※ 新型コロナウイルス感染症対策のためまん延防止期間等は在宅活動用資材の送付

登録者 18名(3/31末時点)

参加者 延べ239人(1回平均14名)

(12) 緊急一時支援事業

社会福祉協議会小口資金貸付事業

申請件数	16 件	(生活困窮世帯 10 件 多子世帯 5 件 障害者世帯 1 件)
承認件数	16 件	
貸付総額	336,678 円	(前年比 26,488 円増)

セーフティネット事業の推進

(1) 【フードバンク事業】

支援件数	20 世帯	提供食数	187 食
------	-------	------	-------

(2) 【制服リユース事業】

支援利用件数	7 世帯	貸出利用件数	0 名
--------	------	--------	-----

(3) 【フードドライブ事業】

(クリスマスパントリー事業)

開催日 令和 3 年 12 月 19 日

対 象 町民

利用者 120 世帯 405 名

支援品提供企業 6 社

支援品提供個人 19 名

(食料支援ボックス配布事業)

実施日 令和 4 年 2 月 26 日

対 象 小中学校児童の保護者

提供数 38 世帯

会 場 きら里館、保健福祉センター、ふれあい館

(4) 【リサイクル品登録事業】

登録件数 15 件

マッチング件数 10 件

(マッチングした物品)

冷蔵庫・洗濯機・テレビ・電子レンジ・ファンヒーター・炊飯器等

(13) 総合相談体制整備事業 (国モデル事業/町健康福祉課受託事業)

【重点事業】

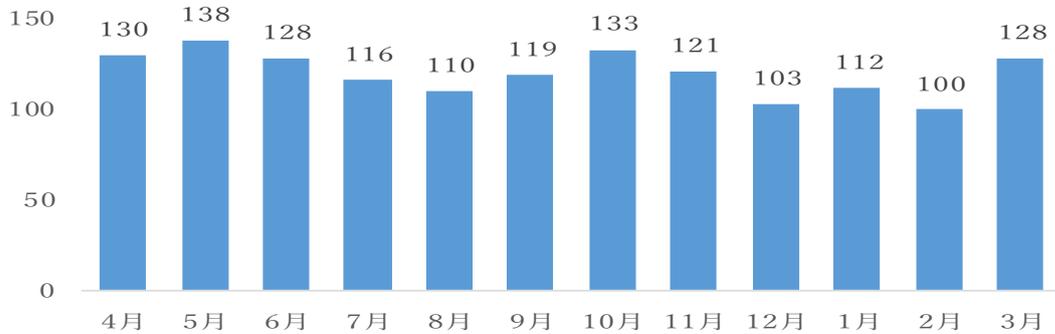
多機関の協働による包括的支援体制の構築事業 (町受託国庫補助事業)

本人やその世帯が課題を感じていなかったり、支援を受けること希望しなかったりするケースが見られ、複合的な課題があっても、本人が支援を望まない以上踏み込むことが難しいケー

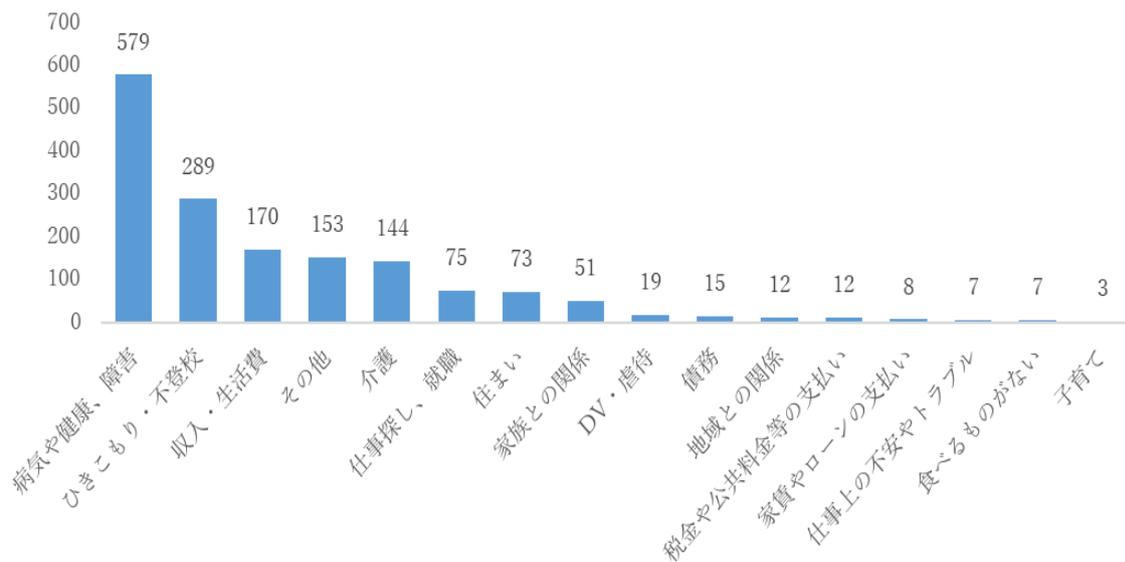
スが存在する。

困りごとが明確な方は直接担当窓口に行くため、総合相談支援センターにつながる方は半数以上が解決まで長期化し伴走支援が必要となる。対応者数が増加していくため、取りこぼしのないように、また、少しでも早く課題が解決できるように支援していく必要がある。

【相談支援実績】 1,438 件



【相談支援内容】



【潜在的な支援ニーズを抱える者を早期に把握するための取組】

- (1) ひきこもり実態把握調査の実施
- (2) 医療機関訪問 (33 施設)
- (3) 市貝町内の地域活動調査
- (4) 地域資源の訪問調査

地域力強化推進事業・共助の基盤づくり事業（町受託国庫補助事業）

【相談支援実績】

地域力強化事業（アウトリーチ等を通じた継続的支援の取組・参加支援の取組）においては、新型コロナウイルス感染症拡大により住民活動が中止を余儀なくされている状況が続き、地域

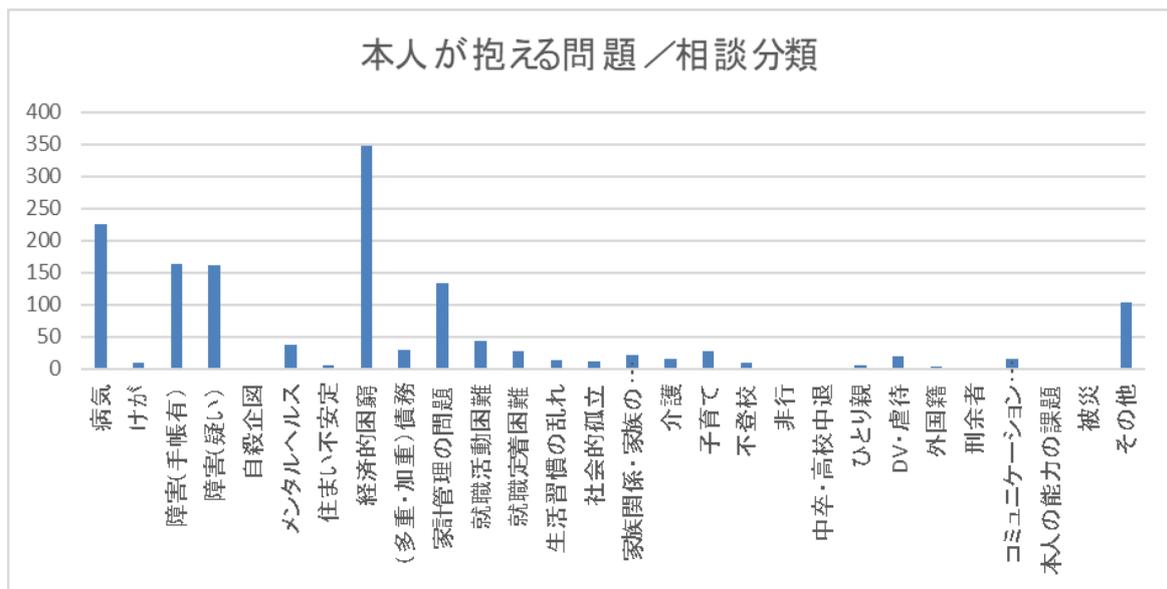
の居場所活動の調査等が進まない状況であったが、地域住民による見守り活動を推進し自治会未加入世帯の増加の課題に取り組む活動を自治会、民生委員、シニアクラブが連携した地域の見守り体制の構築を進めた。

社会資源の連携体制の構築については、町内に企業を開設した代表者と就労状況に配慮が必要な方への働き方の提案等の協議を行う関係を構築した。また新たな就労先の開拓や不用品の処分や廃棄品の無償低額の引き受け先など生活全般の支援に繋がる連携体制の構築をした。

相談事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により収入減収があった世帯への貸付（生活福祉資金特例貸付）に関する相談（就労相談、食料支援、給付金関係相談、自己破産・任意整理）が多くあった。

重層的支援体制整備事業における、参加支援のプランニング等については上半期1件の契約が行われプランニングと支援介入が始まり、継続支援を行うなかで多職種連携の拡大カンファレンスを開催し支援プランに沿って相談者の権利を守りながら分野横断の寄り添い支援を継続している。

【本人が抱える課題】（重層的支援体制アセスシートに基づく起票）



【相談件数】

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	62	40	29	13	11	11	10	15	10	14	13	11	239
継続	66	104	125	52	70	54	60	78	46	87	77	92	911
合計	128	144	154	65	81	65	70	93	56	101	90	103	1150

【出張型専門職出張相談会】

実施期間 令和3年5月～令和4年2月
 開催数 7回
 会場 きら里館、ふれあい館
 内容 社会福祉士、精神保健福祉士による出張相談会

(14) 相談支援事業の経営

障害者相談支援事業

障害福祉サービス計画相談事業所として本格的に事業展開をして、相談支援専門員 4 名配置し計画相談支援の対応にあたった。

(契約利用児者数 令和 4 年 3 月 31 日時点)

契約数 15 件 (障害児 6 件 障害者 9 件)

終了件数 3 件

(15) 権利擁護事業の経営

【重点事業】

法人後見事業の推進

【受任状況】

受任中件数 8 件 (後見 5 件、補佐 3 件、補助 0 件)

終了件数 3 件 (後見 3 件) 令和 3 年度中終了件数

【受任中案件の概況】 (判断能力が不十分な要因)

・認知症 6 件 ・知的障害 1 件 ・精神障害 1 件

【運営委員委嘱】

5 名 (医師 1 名、司法書士 1 名、社会福祉士 2 名、行政担当課長 1 名)

【運営委員会、ケース検討会の開催】

運営委員会開催数 3 回 受任検討 1 事件

ケース検討会開催数 3 回 受任検討 3 事件

【法人後見事業に関する相談実績】

相談件数 552 件

(特に対応の多かった内容)

- | | |
|-----------------------|-------|
| (1) 日常的な金銭の管理・書類等の預かり | 179 件 |
| (2) 医療に関する事項 | 82 件 |
| (3) 健康状態にかかわること | 78 件 |

相談対応件数 542 件

(特に相談の多かった対応)

- | | |
|--------------|-------|
| (1) 利用者の対応支援 | 293 件 |
| (2) 連絡調整・手続き | 136 件 |
| (3) 情報提供 | 40 件 |

権利擁護普及・啓発活動

【権利擁護学習会】

実施日 令和3年6月5日 参加者 10名

対象者 町民

講師 本会職員2名（社会福祉士）

【啓発活動】

実施日 令和3年11月18日 配布数 150部

事業 いちかいシニアクラブ大会

会場 城見ヶ丘運動公園

配布日 令和3年12月18日 配布数 150部

事業 クリスマスマルシェ

会場 道の駅サシバの里いちかい

無料司法書士相談会（赤い羽根共同募金B配分事業）

【司法書士無料相談会実績】

相談の項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談会開催数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
不動産の登記関係	1	2	1	2	1		1				3	2	13
贈与に関する事			1				1		1	2	2	1	8
相続関係	1	3	1	4	3	3		3	2	2	3	1	26
家族との関係について										1			1
債務関係(借金)	1	1	3			1	1						7
成年後見関係		1			1				1				3
税金や公共料金について													0
その他(隣人トラブル・離婚)	1		2	1	1	1						1	7
実来訪者数	6	9	10	9	8	7	5	5	6	7	10	7	89

相談内容に項目重複あり

(16) 福祉サービス利用援助事業【県社協受託事業】

日常生活自立支援事業「あすてらす いちかい」の運営

【制度に関する問い合わせ相談援助件数】

相談者累計 100件

相談件数 138件

【利用状況】

利用者数 11名（高齢・認知症 3件、知的障害 7件、精神障害 1件）

【日常生活自立支援事業に関する対応実績】

相談対応件数 458 件

(特に相談の多かった内容)

- | | |
|-----------------------|-------|
| (1) 日常的な金銭の管理・書類の預かり等 | 206 件 |
| (2) 医療に関する事項 | 39 件 |
| (3) 生活に関すること | 35 件 |

(相談の対応)

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 利用者等対応の支援 | 279 件 |
| (2) 連絡調整・手続き | 56 件 |
| (3) 傾聴 | 41 件 |

【日常生活自立支援事業の生活支援員体験学習】

実施日 令和4年1月13日

対象者 日常生活自立支援事業生活支援員候補者

内 容 制度理解と対人援助の基礎

実施日 令和4年2月2日・25日

対象者 日常生活自立支援事業生活支援員候補者

内 容 制度利用者への支援体験

実施日 令和4年3月4日・25日

対象者 日常生活自立支援事業生活支援員候補者

内 容 福祉サービス利用援助同行

(17) その他この法人の目的達成のため必要な事業

社会福祉協議会会員制度

【募集月間】 4月1日～3月31日 (賛助会員・特別会員)

7月1日～3月31日 (普通会員)

【令和3年度実績】

普通会費	1,382,200 円	2,303 戸	(前年比 68 戸減)
特別会費	490,500 円	136 名	(前年比 2 名減)
賛助会費	370,000 円	36 社	(前年比 1 社増)

【本会活動の周知・啓発】

(活動案内資材の配布)

配布日 令和3年12月18日 配布数 150部

事業 クリスマスマルシェ

会場 道の駅サシバの里いちかい

(支援制度に関する情報提供)

内容 定期健診参加世帯への説明、母子手帳取得時の広報資材の配布

提供品 子育て支援制度の紹介、支援品の提供

【会員加入促進事業】

会員募集チラシ全戸配布 (普通・特別会員5名、賛助会員2社)

地域福祉振興基金事業の充実

【募集期間】 4月1日～3月31日 令和2年度より通年に変更

【令和3年度実績】

寄付総額 561,950円 (前年比 177,250円減)

自治会寄付 461,400円 2,307戸 (前年比 54戸減)

個別寄付 100,550円 6件 (前年比 1件増)

地域福祉振興基金・社会福祉充実残高の運用

理事会及び評議員会にて地域福祉振興基金の活用を協議し、規程の改正を行った。

日本赤十字活動の推進

【会員募集月間】 令和3年5月1日～令和4年3月31日

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、募集期間の変更

【令和3年度実績】

募金総額 1,200,400円 (前年比 1,000円減)

自治会募金 1,170,400円 2,340戸 (前年比 61戸減)

個人募金 30,000円 1件 (前年比増減無し)

【事業関係】

- ・会員募集チラシ全戸配布
- ・赤十字救急法関連事業の開催
- ・日赤奉仕団活動の研修の実施

善意寄付事業の推進

町民や企業より寄付金や物品の寄付を受付、日常生活に支障をきたしている方や、福祉施設等へ寄贈を行った。

【寄付件数】

寄付実績 122 件（個人 102 件・企業・団体等 20 件）

【フードバンクの寄付】

寄付物品 玄米 1,165 k g ・食料品・調味料・カップ麺・お菓子・飲料水

【学用品等の寄付】

寄付物品 中学校制服 7 セット・電子辞書等・衣類

【感染症対策用品等の寄付】

寄付物品 消毒液・マスク・シトラスリボン

【社会福祉に関する寄付】

寄付物品 ジュニアシート・シルバーカー・手縫い雑巾・工作用具・遊具

【リサイクル事業への寄付登録】

登録物品 テレビ・洗濯機・冷蔵庫・電子レンジ・ストーブ

【金品等の寄付】

寄付金品 現金 100,550 円

町内福祉団体の育成・支援事業

町内で活動する福祉団体の事業運営支援を行い、感染症予防に注意しながらコロナ禍においても実施可能な活動の支援を行った。

- (1) いちかいシニアアクティブクラブ（事業支援・事務支援・会計支援）
- (2) 市貝町身体障害者福祉会（事業支援・事務支援・会計支援）
- (3) 市貝町ひまわり会（事業支援・事務支援・会計支援）
- (4) 市貝町母子寡婦福祉会（事業支援・事務支援・会計支援）
- (5) 栃木県ひとり親家庭福祉連合会（事務支援）
- (6) 市貝町更生保護女性会（事業支援・事務支援）
- (7) 市貝町遺族会 英霊殿護持会（事業支援・事務支援・会計支援）
- (8) 市貝町ボランティア連絡協議会（事業支援・事務支援）
- (9) 市貝町赤十字奉仕団（事業支援・事務支援・会計支援）
- (10) 民生四ツ葉会（事業支援・事務支援・会計支援）
- (11) おもいやりサポーター（事業支援・事務支援・会計支援）
- (12) こぼとの会（事業支援・事務支援・会計支援）
- (13) サークル活動団体（事業支援・事務支援）

(17) 法人の組織・機能強化

理事会・評議員会の開催 指導監査等

法人運営にかかる重要項目の協議を行い地域共生社会の実現に向けた会議を実施した。

【理事会】

第1回 令和3年6月10日 理事9名 監事2名

議案第1号 令和2年度事業報告について

議案第2号 令和2年度決算について

議案第3号 社会福祉充実計画について

議案第4号 役員の選任について

議案第5号 評議員の推薦について

議案第6号 評議員選任・解任委員会委員の選任について

議案第7号 評議員選任・解任委員会の開催について

議案第8号 定時評議員会の開催について

議案第9号 規程・要綱等の改正について

議案第10号 補正予算について

報告第1号 各種規程改正の報告について

報告第2号 補正予算について

その他(1) 社会福祉協議会会員募集チラシの納付状況について

第2回 令和3年6月25日 理事9名 監事1名

議案第1号 会長及び副会長の選任について

第3回 令和3年11月11日 理事9名 監事1名

議案第1号 補正予算について

議案第2号 各種規程の改正について

議案第3号 市貝町地域福祉振興基金の設置規程の改正について

議案第4号 役員の選任について

議案第5号 評議員会の書面決議について

報告第1号 令和3年度半期収支の報告について

報告第2号 法人後見事業受任状況の報告について

報告第3号 会長の専決事項の報告について

報告第4号 会長の職務執行状況の報告について

その他(1) 成年後見制度利用促進事業について

その他(2) 市貝町補助金の予算要望について

第4回 令和4年3月16日 理事9名 監事2名

議案第1号 令和4年度事業計画(案)について

- 議案第 2 号 令和 4 年度予算（案）について
- 議案第 3 号 令和 3 年度補正予算について
- 議案第 4 号 規程の制定及び規則の一部改正について
- 議案第 5 号 地域福祉活動計画の進行管理について
- 議案第 6 号 評議員会の開催について
- 報告第 1 号 予算要望の結果について
- 報告第 2 号 会長の専決事項の報告について
- 報告第 3 号 法人後見事業の状況報告について
- 報告第 4 号 会長の職務執行状況の報告について

【評議員会】

第 1 回 令和 3 年 6 月 25 日 評議員 10 名

- 議案第 1 号 令和 2 年度事業報告について
- 議案第 2 号 令和 2 年度決算について
- 議案第 3 号 社会福祉充実計画について
- 議案第 4 号 役員を選任について
- 議案第 5 号 補正予算について
- 報告第 1 号 各種規程改正の報告について
- 報告第 2 号 権利擁護事業にかかる対策について

第 2 回 令和 3 年 11 月 18 日 書面決議 評議員 14 名

- 議案第 1 号 補正予算について
- 議案第 2 号 役員を選任について
- 報告第 1 号 令和 3 年度半期収支の報告について
- 報告第 2 号 会長の専決事項の報告について
- 報告第 3 号 会長の職務執行状況の報告について
- 議案第 4 号 市貝町地域福祉振興基金設置規程改正の報告について

第 3 回 令和 4 年 3 月 30 日 評議員 13 名

- 議案第 1 号 令和 4 年度事業計画（案）について
- 議案第 2 号 令和 4 年度予算（案）について
- 議案第 3 号 令和 3 年度補正予算について
- 議案第 4 号 地域福祉活動計画の進行管理について
- 報告第 1 号 予算要望の結果について
- 報告第 2 号 法人後見事業の状況報告について
- 報告第 3 号 会長の職務執行状況について

【評議員選任・解任委員会】

令和3年6月17日 委員3名 役員1名 法人職員3名
議案第1号 評議員の選任について

【法人決算監査会】

令和3年5月27日 監事2名 役員1名 法人職員4名

【市貝町議会総務民生常任委員会事務調査】

令和3年10月28日 議会議員6名 議会事務局1名 役員1名 法人職員4名

経営の透明性の向上

法人組織の透明性を図るため HP や広報誌を用い情報の開示を行った。

(公開先)

WAM ネット 現況報告書、収支決算、財務諸表、貸借対照表

ホームページ 事業報告書、収支決算書

広報誌 事業計画（概要）事業報告書（概要）
収支予算（法人全体）、収支決算（法人全体）

地域福祉活動計画の進行管理

地域福祉活動計画を基に事業を展開し、理事会及び評議員会において第2期地域福祉活動計画1年目の進行管理を行った。

第2期活動計画進行管理委員会の開催

理事会内 令和4年3月16日

評議員会内 令和4年3月30日

法人役職員の研修

【研修等の受講】

(1) 社会福祉協議会トップセミナー（県社協主催）

出席者：次長 会場：ZOOM 会議

(2) 社会福祉協議会管理職研修会（県社協主催）

出席者：事務局長 会場：とちぎ福祉プラザ

(3) 生活福祉資金担当者研修会（県社協主催）

出席者：担当係 会場：とちぎ福祉プラザ

(4) 経理・労務管理関連研修会（県社協主催）

出席者：担当係 会場：とちぎ福祉プラザ

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (5) 地域福祉推進セミナー研修 | (栃木県 県社協 主催) |
| 出席者：担当職員 | 会場：ZOOM 会議 |
| (6) 事業継続計画策定に関する研修 | (栃木県社会福祉協議会主催) |
| 出席者：事務局長 | 会場：ZOOM 会議 |
| (7) 本会職員キャリアパス研修 | (法人主催) |
| 出席者：法人全職員 | 会場：市貝町保健福祉センター |
| (8) 学童関係職員に関する研修 | (栃木県主催) |
| 出席者：学童職員 | 会場：宇都宮市総合文化センター |
| (9) 権利擁護事業に関する研修 | (栃木県 宇都宮家裁 県社社主催) |
| 出席者：担当職員 | 会場：とちぎ福祉プラザ |
| (10) スーパービジョン | (法人主催) |
| 出席者：相談対応職員 | 会場：保健福祉センター |
| (11) 障害福祉サービス事業研修 | (栃木県主催) |
| 出席者：担当職員 | 会場：動画配信会議 |
| (12) 障害福祉加算事業研修 | (栃木県障害施設事業協会主催) |
| 出席者：次長 | 会場：コンセーレ |
| (13) 社会福祉士実習指導者研修 | (栃木県社会福祉士会主催) |
| 出席者：次長 | 会場：オンライン講習 |

【視察研修の受入れ・研修への協力】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 地域福祉活動調査 | (宇都宮大学依頼) |
| (2) 地域福祉推進者研修会 | (石川県依頼) |
| (3) 重層的支援体制整備事業研修会 | (群馬県館林市社会福祉協議会依頼) |

職員のスキルアップ

職員の資質向上を図るため各研究研修会等へ派遣し地域福祉の推進に必要なスキルを習得させ、国家資格有資格者4名のコミュニティソーシャルワーカーを配置した。組織強化のため職員スキル向上に努め、総合福祉計画に基づき福祉専門組織体制の構築を図った。

令和4年3月31日 在籍職員 22名

正規職員 3名 (内 CSW2名)

(社会福祉士3名 相談支援専門員2名 放課後児童支援員2名)

常勤嘱託職員 6名 (内 CSW2名)

(社会福祉士4名 精神保健福祉士3名 介護福祉士1名 相談支援専門員2名
放課後児童支援員1名)

臨時職員 1名

非常勤職員 11名

(保育士3名 幼稚園教諭3名 教員免許3名 放課後児童支援員3名 子育て支援員6名)